

# 業務・加工用向け早期栽培用多収水稻品種「とよめき」の特性

「とよめき」は「イクヒカリ」に比べて約15%収量が多く、「コシヒカリ」「イクヒカリ」との作期分散が可能

## 背景・目的

- ・稲作農家の経営安定化には販路拡大や規模拡大が必要である。
- ・弁当等の中食用，焼酎麴，米粉等の業務用米の需要が増加している。
- ・食味重視の主食用米に加え，各用途に対応した収量性の高い品種が求められている。
- ・早期栽培用の「コシヒカリ」や「イクヒカリ」を上回る多収品種の選定・普及が課題となっている。

## 成果の内容



### 「とよめき」の特徴（「イクヒカリ」と比較）

- ・千粒重は同程度からやや重く，収量は極多収。
- ・稈長は同程度，穂長は長く，1穂粒数は多い。
- ・出穂期で4日，成熟期で8日遅い  
早期栽培用晩生種。

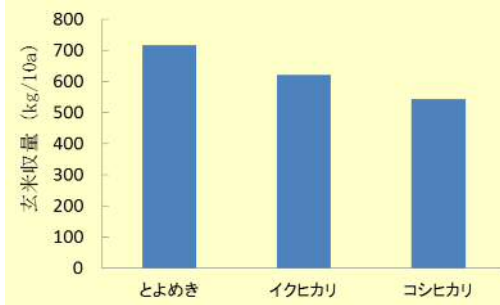
品種名	耐倒伏性	穂発芽性	脱粒性	除草剤	いもち耐病性		縞葉枯病 抵抗性	白葉枯病 抵抗性
				感受性	遺伝子型	葉		
とよめき	やや強	中	難	感受性	Pib 他	弱	不明	罹病性 やや弱
イクヒカリ(比較)	強	難	難	抵抗性	Pita-2 <i>i</i>	中	弱	罹病性 中

注) 1. 除草剤感受性は除草剤成分ベンゾビスクロン，テフリルトリオン，メソトリオンに対する感受性

注) 2. データは育成地情報

除草剤の種類  
に注意！

導入  
メリット



○収量は「コシヒカリ」に比べて約30%アップ，「イクヒカリ」に比べて約15%アップ

○中食用に適する。

○異なる熟期で  
作期分散が可能



熟期及び用途向け品種の組み合わせで  
販路拡大&規模拡大による経営安定化

## 期待される効果

大規模水稻農家の経営安定化

鹿児島県農業開発総合センター—園芸作物部作物研究室

普及対象・範囲

県内早期水稻栽培農家